

2012年2月期決算報告



ユニ株式会社
2012年4月10日

1. 連結決算

① 連結業績

(単位:百万円)

	年間実績 (連結)	前期比		当初計画比 (H23.4.8発表)	
		差異	%	差異	%
営業収益	1,079,150	▲ 33,630	97.0	▲ 5,849	99.5
営業総利益	414,848	▲ 764	99.8	1,908	100.5
営業費	370,846	▲ 9,664	97.5	▲ 6,893	98.2
営業利益	44,001	8,899	125.4	8,801	125.0
経常利益	42,389	10,107	131.3	9,989	130.8
特別損益	▲ 16,531	▲ 4,623	—	3,148	—
減損損失	▲ 6,179	3,798	—	2,470	—
資産除去債務	▲ 8,481	▲ 8,481	—	828	—
災害損失	▲ 2,430	▲ 2,430	—	▲ 2,430	—
その他	560	2,490	—	2,280	—
少数株主利益	4,032	359	109.8	1,989	197.4
当期純利益	8,323	2,277	137.7	5,923	346.8

※「資産除去債務に関する会計基準」等の適用による当期純利益に与える影響額は、約▲3,700百万円。

② セグメント別の業績

(単位:百万円)

	営業収益				
	年間実績	前期比		計画比(H23.4.8発表)	
		差異	%	差異	%
総合小売業	802,562	▲ 21,891	97.3	▲ 3,277	99.6
CVS	187,799	▲ 4,505	97.7	▲ 990	99.5
専門店	74,006	▲ 7,371	90.9	▲ 2,973	96.1
金融	16,411	▲ 827	95.2	311	101.9
その他(相殺含む)	▲ 1,628	965	—	1,081	—
連結計	1,079,150	▲ 33,630	97.0	▲ 5,849	99.5

	営業利益				
	年間実績	前期比		計画比(H23.4.8発表)	
		差異	%	差異	%
総合小売業	18,141	5,061	138.7	4,391	131.9
CVS	20,328	3,386	120.0	3,588	121.4
専門店	745	▲ 803	48.1	▲ 1,364	35.3
金融	4,240	1,325	145.5	2,140	201.9
その他(相殺含む)	546	▲ 70	88.6	45	109.0
連結計	44,001	8,899	125.4	8,801	125.0

③ セグメント別の主な個別会社の業績

○ 総合小売業

(単位:百万円)

ユニ	ユニ	前期比		当初計画比	
		差異	%	差異	%
営業収益	788,234	▲ 24,765	97.0	▲ 865	99.9
営業利益	18,209	5,177	139.7	4,709	134.9
経常利益	19,894	5,874	141.9	5,394	137.2
当期純利益	5,409	901	120.0	3,209	245.9
既存店伸長率	98.4%	▲ 0.7%		0.4%	

ユニ	ユニ香港 (11月決算)	前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	14,702	2,757	123.1	▲ 2,524	85.3	H22年12月に3号店がオープンして増収となったが、開店一時経費等の負担により、減益。
営業利益	▲ 88	▲ 93	—	▲ 216	—	
経常利益	▲ 40	▲ 107	—	▲ 183	—	
当期純利益	33	8	132.9	▲ 85	28.2	
既存店伸長率	98.7%		0.3%	0.5%		

換算レート 1香港ドル = 当期 = 10.44円 (当初計画 11.00円)
前期 = 11.03円

○コンビニエンスストア

(単位:百万円)

CircleK/Sunkus (連結)		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	187,799	▲4,505	97.7	▲990	99.5	直営店が減少したため、営業収益は減収。加盟店手数料増により営業総利益は27.4億円増。営業費も、6.5億円減により増益。
営業利益	21,957	3,385	118.2	3,557	119.3	
経常利益	21,338	3,861	122.1	3,838	121.9	
当期純利益	9,378	2,212	130.9	4,598	196.2	
既存店伸長率	103.1%		4.5%		2.6%	

○金融

(単位:百万円)

UCS		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	16,415	▲824	95.2	315	102.0	ショッピング9億円増、キャッシング19億円減等により減収。営業費は、22億円減(貸倒関連費用は、32億円減)により増益。
営業利益	3,222	1,393	176.2	2,222	322.3	
経常利益	3,228	1,393	176.0	2,228	322.8	
当期純利益	1,740	722	170.9	1,195	319.4	
カード会員数	323.3万人	5.0万人	101.6	0.3万人	100.1	

○専門店

(単位:百万円)

SAGAMI さが美 (連結)		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	25,953	▲3,718	87.5	▲1,626	94.1	既存店伸長率94.7%、期末店舗数19店舗減により減収。営業総利益率0.7%低下。営業費を17.9億円削減したものの減益。
営業利益	▲310	▲466	—	▲510	—	
経常利益	▲307	▲453	—	▲487	—	
当期純利益	▲824	▲798	—	▲409	—	
既存店伸長率	94.7%		2.7%		▲2.7%	

PALEMO パレモ		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	27,978	▲1,923	93.6	▲1,321	95.5	既存店伸長率92.3%、荒利率0.2%低下。営業費を5.7億円削減したものの減益。
営業利益	631	▲537	54.0	▲678	48.2	
経常利益	675	▲537	55.7	▲624	51.9	
当期純利益	▲190	▲478	—	▲380	—	
既存店伸長率	92.3%		▲6.6%		▲3.7%	

○専門店

(単位:百万円)

SUZUTAN 鈴丹 (連結)		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	14,484	▲667	95.6	264	101.9	既存店伸長率100.7%、期末店舗数21店舗減により減収。営業総利益率0.2%低下。営業費を4.8億円削減により増益。
営業利益	418	69	119.9	▲105	79.9	
経常利益	434	78	122.2	▲87	83.2	
当期純利益	▲238	▲331	—	▲246	—	
既存店伸長率	100.7%		4.0%		6.0%	

"MOLE" モリエ		前期比		当初計画比		コメント
		差異	%	差異	%	
営業収益	5,595	▲1,061	84.1	▲288	95.1	既存店伸長率92.7%、期末店舗数10店舗減により減収。営業総利益率が2.3%改善し、営業費を4.6億円削減し、黒字化。
営業利益	5	130	—	▲71	7.5	
経常利益	2	129	—	▲72	3.6	
当期純利益	▲73	262	—	▲79	—	
既存店伸長率	92.7%		3.7%		▲3.3%	

④営業外収益の主な内容

(単位:百万円)

	当期	前期	増減
受取利息	814	913	▲98
受取配当金	356	351	4
負のれん償却額	786	788	▲1
持分法による投資利益	310	162	148
受取補償金	332	437	▲104
テナント内装工事負担金	36	147	▲110
その他	946	1,012	▲65
営業外収益計	3,584	3,812	▲227

⑤営業外費用の主な内容

(単位:百万円)

	当期	前期	増減
支払利息	3,914	4,329	▲415
支払補償費	1,005	1,594	▲588
その他	276	708	▲432
営業外費用計	5,196	6,631	▲1,435

⑥特別利益の主な内容

(単位:百万円)

	当期	前期	増減
固定資産売却益	299	124	175
貸倒引当金戻入額	101	86	14
投資有価証券売却益	481	36	445
事業構造改善引当金戻入額	—	136	▲136
段階取得に係る差益	258	—	258
受取和解金	1,532	—	1,532
その他	192	21	170
特別利益計	2,866	405	2,461

⑦特別損失の主な内容

(単位:百万円)

	当期	前期	増減
固定資産処分損	1,293	1,352	▲59
減損損失	6,179	9,977	▲3,798
災害による損失	2,430	—	2,430
貸倒引当金繰入額	432	130	302
投資有価証券評価損	94	553	▲459
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,481	—	8,481
その他	487	298	188
特別損失計	19,398	12,313	7,085

2. 連結決算業績予想

①次期の業績予想

	通期	前期比		上期	前上期比	
		差異	%		差異	%
営業収益	1,057,000	▲22,150	97.9	526,500	▲10,776	98.0
営業総利益	414,200	▲648	99.8	207,300	▲94	100.0
営業費	368,800	▲2,046	99.4	183,500	▲608	99.7
営業利益	45,400	1,398	103.2	23,800	513	102.2
経常利益	42,700	310	100.7	22,600	14	100.1
特別損益	12,000	28,531	—	14,500	28,711	—
減損損失	▲3,200	2,979	—	▲2,200	470	—
負ののれん発生益	17,850	17,850	—	17,850	17,850	—
資産除去債務	—	8,481	—	—	8,481	—
災害損失	—	2,430	—	—	2,453	—
その他	▲2,650	▲3,210	—	▲1,150	▲543	—
少数株主利益	1,230	▲2,802	30.5	960	▲194	83.2
当期純利益	37,500	29,176	450.5	28,800	26,596	—

※サークルKサンクスの完全子会社化による営業上のシナジー効果は含んでおりません。

②セグメント別の業績予想

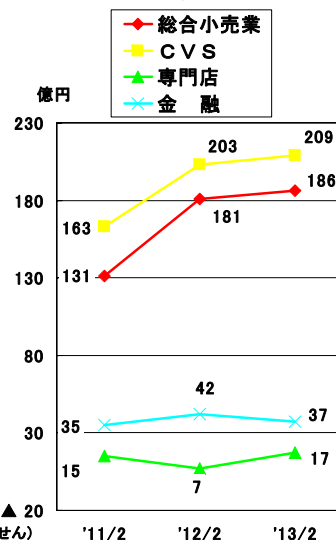
(単位:百万円)

	営業収益		
	通期予想	前期比	
		差異	%
総合小売業	804,280	1,717	100.2
CVS	164,630	▲23,169	87.7
専門店	73,620	▲386	99.5
金融	16,500	88	100.5
その他	▲2,030	▲401	—
連結計	1,057,000	▲22,150	97.9

	営業利益		
	通期予想	前期比	
		差異	%
総合小売業	18,620	478	102.6
CVS	20,920	591	102.9
専門店	1,660	914	222.8
金融	3,680	▲560	86.8
その他	520	▲25	95.4
連結計	45,400	1,398	103.2

※㈱99イテバは、総合小売業に含みます。(但し、前期の組替はしておりません)

セグメント別営業利益(予想)



③セグメント別の主な個別会社の通期業績予想

○総合小売業

(単位:百万円)

ユニー	ユニー	前期比	
		差異	%
営業収益	779,400	▲8,834	98.9
営業利益	18,700	490	102.7
経常利益	21,600	1,705	108.6
当期純利益	12,400	6,990	229.2
既存店伸長率	98.5%		0.1%

ユニー	ユニー香港 (11月決算)	前期比		コメント
		差異	%	
営業収益	14,380	▲322	97.8	円高換算レート差異による ▲4.2%の影響を見込み、減収。新設の3号店も赤字が減少し、経常利益は黒字化。
営業利益	0	88	—	
経常利益	35	75	—	
当期純利益	29	▲4	86.9	
既存店伸長率	102.1%		3.4%	

換算レート 1香港ドル= 当期予想=10.00円
前期実績=10.44円

○コンビニエンスストア

(単位:百万円)

		前期比		コメント
		差異	%	
サークルKサンクス (連結)				
営業収益	164,630	▲ 23,169	87.7	99イチバ減、既存店伸長率98.5%、直営店舗数の減少も含め減収。営業総利益は21.1億円減少するが、営業費を26.5億円削減し増益。
営業利益	22,500	542	102.5	
経常利益	21,500	161	100.8	
当期純利益	10,200	821	108.8	
既存店伸長率	98.5%		▲ 4.6%	

○金融

(単位:百万円)

	UCS	前期比		コメント
		差異	%	
UCS				
営業収益	16,500	84	100.5	営業収益は、ショッピングの増加が、キャッシングの減少を上回り増収。営業費は更新カード対応等で5億円増(貸倒関連費用は、1億円増)により減益。
営業利益	2,800	▲ 422	86.9	
経常利益	2,800	▲ 428	86.7	
当期純利益	1,680	▲ 60	96.5	
カード会員数	315.0万人	▲ 8.3万人	97.4	

○専門店

(単位:百万円)

	さが美 (連結)	前期比		コメント
		差異	%	
さが美 (連結)				
営業収益	26,200	246	100.9	既存店伸長率103.5%により増収。営業総利益率0.6%の改善と営業費2.6億円削減で黒字化。
営業利益	240	550	—	
経常利益	230	537	—	
当期純利益	40	864	—	
既存店伸長率	103.5%		8.8%	

	パレモ (連結)	前期比		コメント
		差異	%	
パレモ (連結)				
営業収益	42,070	14,091	150.4	既存店伸長率96.8%だが、期末店舗数が10店舗増。旧館丹を合わせ増収。荒利率を52.8%から54.4%に1.6%改善し、増益。
営業利益	1,320	688	209.1	
経常利益	1,300	624	192.6	
当期純利益	1,800	1,990	—	
既存店伸長率	96.8%		4.5%	

○専門店

(単位:百万円)

	モリエ	前期比		コメント
		差異	%	
モリエ				
営業収益	5,357	▲ 238	95.7	既存店伸長率98.5%であり、期末店舗数も1店舗減少するため減収。営業総利益率を2.5%改善し、営業費を0.7億円削減し増益。
営業利益	100	94	—	
経常利益	90	87	—	
当期純利益	70	143	—	
既存店伸長率	98.5%		5.8%	

④設備投資(工事ベース)と減価償却費

(単位:百万円)

	設備投資			減価償却費		
	通期予想	前期実績	前期差異	通期予想	前期実績	前期差異
ユニー	22,851	15,565	7,286	16,369	15,665	704
ユニー香港	120	477	▲ 357	312	376	▲ 64
サークルKサンクス(連結)	25,280	24,226	1,054	14,196	12,900	1,396
さが美(連結)	250	81	169	157	148	9
パレモ	1,200	646	554	590	350	240
モリエ	40	17	23	29	31	▲ 2
その他	2,476	1,897	579	1,253	1,576	▲ 323
連結合計	52,217	42,910	9,307	32,906	31,046	1,960

※旧館丹の前期実績は「その他」に含みます。

⑤開店・閉店店舗数

	期首店舗数	開店予定数	閉店予定数	期末予想店舗数	前期差異
ユニー	227	3	3	227	± 0
ユニー香港	3	0	0	3	± 0
サークルKサンクス(連結)	6,169	408	278	6,299	+ 130
さが美(連結)	301	8	8	301	± 0
パレモ	804	40	30	814	+10
モリエ	136	3	4	135	▲ 1

※パレモの「期首店舗数」には旧館丹の店舗数を含みます。

3. 単体決算



①単体業績

(単位:百万円)

	年間実績 (単体)	前期比		当初計画比 (H23.4.8発表)	
		差異	%	差異	%
営業収益	788,234	▲ 24,765	97.0	▲ 865	99.9
営業総利益	222,476	▲ 279	99.9	1,976	100.9
営業費	204,266	▲ 5,457	97.4	▲ 2,733	98.7
営業利益	18,209	5,177	139.7	4,709	134.9
経常利益	19,894	5,874	141.9	5,394	137.2
当期純利益	5,409	901	120.0	3,209	245.9

※「資産除去債務に関する会計基準」等の適用による当期純利益に与える影響額は、約▲2,150百万円。

	上期実績	下期実績	年間実績	前期差異	当初計画差異
既売売上前年比	99.2%	97.7%	98.4%	▲ 0.7%	0.4%
直営荒利率	24.6%	24.6%	24.6%	0.7%	0.3%

	上期実績	下期実績	年間実績	前期差異	当初計画差異
営業費	100,880	103,386	204,266	▲ 5,457	▲ 2,733



②新增設店舗及び閉店店舗

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期
新設 店舗	ユーホーム桶狭間店 (業態変更)	名古屋市緑区	2,066 m ² (2,000 m ²)	H 23. 8. 3	ピオニーク東松山 (アピタ東松山店) ピアゴ ラーフスコア中田店 ピルス'ウォーク徳重 (ピアゴ ラーフスコア徳重店)
	ピアゴ蟹江店(建替)	愛知県海部郡	3,394 m ² (1,859 m ²)	H 23. 9.23	
	アピタ富士吉原店(建替)	静岡県富士市	12,598 m ² (8,129 m ²)	H 23.10. 8	
テナント 増床 店舗	アピタ福井大和田店 (ユーホームをテナントへ置換)	福井県福井市	45,944m ² (13,765 m ²)	H 23. 6.23	
	ピアゴ植田店	名古屋市天白区	7,643 m ² (4,846 m ²)	H 23.10.21	
閉店 店舗	ユーホーム福井大和田店 (テナントへ置換)	福井県福井市	(7,399 m ²)	H 23. 2.20	アピタ武生店 ピアゴ可児店 ピアゴ前後駅前店 アピタ豊川店 ユニー吉原店 ピアゴ桶狭間店 ピアゴ蟹江店 ピアゴ騎西店
	ピアゴ今池店(建替)	名古屋市千種区	(7,719 m ²)	H 23. 5. 8	
	ピアゴ西尾駅東店(建替)	愛知県西尾市	(5,742 m ²)	H 23. 8.16	
	アピタ佐原東店(建替)	茨城県稲敷市	(10,522 m ²)	H 23. 8.16	
	ピアゴ乙川店	愛知県半田市	(6,494 m ²)	H 23. 8.23	

③設備投資額

(単位:億円)

	当期	前期	増減
先行投資	17	6	11
新增設店	32	99	▲ 67
既存店活性化投資等	107	83	24
工事ベース合計	156	188	▲ 32
支払ベース合計	166	177	▲ 11

④有利子負債

(単位:百万円)

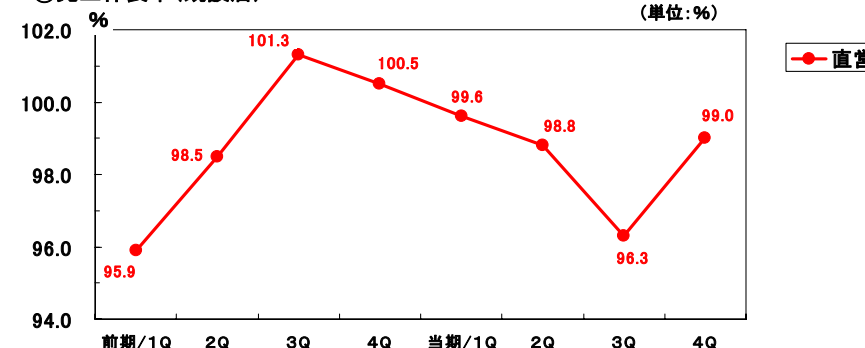
	当期	前期	増減
コマーシャルペーパー	59,500	26,500	33,000
短期借入金	7,581	2,264	5,317
長期借入金	203,894	207,692	▲ 3,798
合計	270,975	236,456	34,519

※当期は、公開買付準備資金のために有価証券と有利子負債がともにそれぞれ27,000百万円ずつかさ上げとなっております。



⑤売上伸長率(既設店)

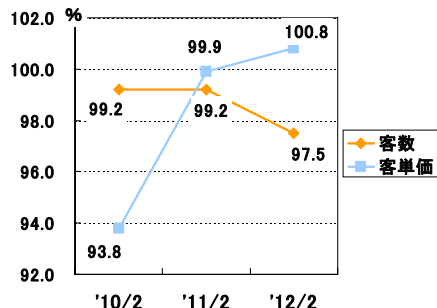
(単位:%)



	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
衣料品	96.7%	100.5%	94.9%	103.0%	98.8%
住関連	100.8%	100.6%	92.8%	97.3%	97.8%
食品	99.9%	97.9%	97.5%	98.6%	98.5%
直営	99.6%	98.8%	96.3%	99.0%	98.4%

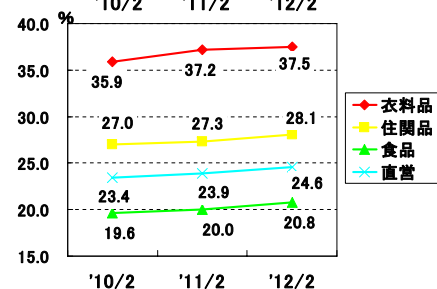
⑥客数・客単価

	当期	前期	増減
客数	97.5%	99.2%	▲ 1.7%
客単価	100.8%	99.9%	0.9%



⑦荒利率

	当期	前期	増減
衣料品	37.5%	37.2%	0.3%
住関連	28.1%	27.3%	0.8%
食品	20.8%	20.0%	0.8%
直営	24.6%	23.9%	0.7%



⑧営業費の主な内容

	当期	前期	増減
人件費	99,322	99,742	▲ 420
広告費	12,813	13,634	▲ 820
内装費	650	659	▲ 9
賃借料	25,327	26,407	▲ 1,080
減価償却費	15,665	17,653	▲ 1,988
水道光熱費	11,877	12,392	▲ 514
その他	38,609	39,233	▲ 623
営業費計	204,266	209,724	▲ 5,457

⑨営業外損益の主な内容

	当期	前期	増減
受取利息	449	479	▲ 29
受取配当金	2,465	2,411	53
支払利息	▲ 2,494	▲ 2,908	413
金融収支	420	▲ 16	437
貸倒引当金繰入額	▲ 58	▲ 333	275
その他	1,322	1,338	▲ 15
営業外損益計	1,685	988	697

⑩特別利益の主な内容

	当期	前期	増減
固定資産売却益	32	55	▲ 22
その他	—	1	▲ 1
特別利益計	32	56	▲ 23

⑪特別損失の主な内容

	当期	前期	増減
固定資産処分損	690	822	▲ 131
投資有価証券評価損	29	75	▲ 45
関係会社株式評価損	—	51	▲ 51
減損損失	3,026	5,856	▲ 2,830
災害による損失	1,433	—	1,433
貸倒引当金繰入額	432	130	302
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,463	—	3,463
その他	217	1	216
特別損失計	9,292	6,936	2,356

4. 単体決算業績予想

①次期の業績予想

	通期	前期比		上期		
		差異	%	上期予想	前上期比	
営業収益	779,400	▲ 8,834	98.9	383,800	▲ 2,699	99.3
営業総利益	223,260	783	100.4	110,030	825	100.8
人件費	97,300	▲ 2,022	98.0	48,770	▲ 1,007	98.0
広告費	13,000	186	101.5	6,460	407	106.7
内装費	970	319	149.1	370	143	163.1
賃借料	24,740	▲ 587	97.7	12,340	▲ 324	97.4
減価償却費	16,500	834	105.3	7,770	199	102.6
水道光熱費	12,580	702	105.9	6,320	473	108.1
その他	39,470	860	102.2	19,500	757	104.0
営業費計	204,560	293	100.1	101,530	649	100.6
営業利益	18,700	490	102.7	8,500	175	102.1
経常利益	21,600	1,705	108.6	8,500	▲ 856	90.8
減損損失	▲ 1,000	2,026	—	0	2	—
その他	▲ 2,000	4,233	—	▲ 1,000	4,957	—
特別損益	▲ 3,000	6,259	—	▲ 1,000	4,959	—
当期純利益	12,400	6,990	229.2	4,800	2,502	208.9

※サークルKサンクスの完全子会社化による営業上のシナジー効果は含んでおりません。

	上期計画	下期計画	年間計画	前期差異
既設売上前年比	98.5%	98.5%	98.5%	0.1%

	上期計画	下期計画	年間計画	前期差異
直営荒利率	25.0%	25.0%	25.0%	0.4%

(単位:百万円)

	上期計画	下期計画	年間計画	前期差異
営業費	101,530	103,030	204,560	293

② 新增設予定店舗及び閉店予定店舗

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	総投資額
新設 店舗	アピタ佐原東店(建替)	茨城県稲敷市	10,909㎡ (8,265㎡)	H 24. 8月	16.0億円
	ピアゴ新店(建替)	愛知県新城市	7,716㎡ (5,246㎡)	H 24. 下期	22.0億円
	ピアゴ可児店(建替)	岐阜県可児市	6,380㎡ (4,218㎡)	H 24. 下期	11.3億円
増床店舗	アピタ敦賀店	福井県敦賀市	15,174㎡ (8,069㎡)	H 24. 下期	15.6億円
テナント 増床店舗	けやきウォーク前橋 (アピタ前橋店)	群馬県前橋市	56,909㎡ (13,117㎡)	H 24. 上期	6.3億円
	アピタ本庄店	埼玉県本庄市	12,238㎡ (7,617㎡)	H 24. 下期	3.7億円
閉店 店舗	ピアゴ浜松泉町店(建替)	浜松市中区	(4,952㎡)	H 24. 5月	
	アピター宮店(改築)	愛知県一宮市	(14,478㎡)	H 24. 8月	
	ピアゴ新店(建替)	愛知県新城市	(4,223㎡)	H 24. 8月	

③ 設備投資計画

(単位:億円)

	次期予想	当期実績	増減
先行投資	93	17	76
- 新增設店	65	32	33
- 既存店活性化投資等	71	107	▲ 36
工事ベース合計	229	156	73
支払ベース合計	192	166	26

④ 期末店舗数と売場面積

	次期期末	当期期末	増減	前年比
店舗数	227 店	227 店	—	100.0 %
売場面積	1,705,126 ㎡	1,708,818 ㎡	▲ 3,692 ㎡	99.8 %

⑤ 資金計画の概要

(単位:億円)

		次期予想	当期実績
支払ベース設備投資	1	192	166
その他投融资	2	798	4
合計	3	990	170
当期純利益	4	124	54
配当金	5	▲ 42	▲ 38
減価償却	6	164	157
退職給付引当金等	7	▲ 10	▲ 9
除却・売却・減損(簿価)	8	31	86
税金調整	9	21	1
その他	10	▲ 8	▲ 8
計	11	280	243
預り保証金	12	▲ 11	▲ 22
長期借入金	13	1	▲ 38
差入保証金戻り等	14	39	70
合計	15	309	253
過不足	16	▲ 681	83

⑥連結予想貸借対照表(平成25年2月20日)

要約貸借対照表 (平成24年2月20日現在) (単位:億円)				予想貸借対照表 (平成25年2月20日現在) (単位:億円)			
現・預金	1,007	有利子負債	3,357	現・預金	857	有利子負債	3,562
有価証券	420			有価証券	—		
		株主資本	2,430			株主資本	2,764
		少数株主持分	1,046			少数株主持分	95
		純資産計	3,476			純資産計	2,859
資産計	9,646	負債・資本計	9,646	資産計	9,076	負債・資本計	9,076

(単位:億円)

項目	金額	増減理由
①現・預金	▲150	サークルKサンクス等の余剰資金を取崩し、有利子負債返済
②有価証券	▲420	短期運用資金の取崩し、有利子負債返済
③有利子負債	+205	公開買付資金(775)－①－②
④少数株主持分	▲951	サークルKサンクス少数株主持分の減少

⑦配当政策

従来

将来の事業展開に備えるため、内部留保による財務体質の維持強化に配慮しながら、安定的な配当を継続していきます。

次期以降

連結業績を反映した配当を行うことを基本方針としてまいります。1株当たり年間配当金22円を基本としつつ、連結配当性向30%を目標値とします。

	年間配当金		
	中間	期末	合計
23年2月期	9円	10円	19円
24年2月期 (予想)	9円	10円	19円
25年2月期 (予想)	11円	11円	22円